

広野町の特産品



広野町産バナナ
「綺麗」



特別栽培コシヒカリ
「ひろの米」

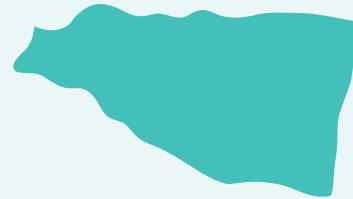


果汁100%
ミカンジュース

東北でも指折りの温暖な気候を生かし、みかんやバナナが栽培され、6次化商品などにも力を入れています。農業や化学肥料の使用を最小限に抑えた特別栽培の米、ひろの米も自慢の特産品です。

広野町の面積

58.69km²



江戸時代には宿場町として栄えた広野町は、北は檜葉町、南はいわき市と隣接し、明治以降、100数十年以上にわたり今のまちの形を保っています。

HIRONO TOWN IN DATA

データで見る広野町

男女別人口



男性
2,434人



女性
2,174人

男女比率は大きくは変わらず、6：4。他町村と比べても大きく変わりはありません。

※2023年12月31日時点

広野町の人口

4,608人



東日本大震災の影響により一時的に減ってしまいましたが、現在は町民に加え移住者も増え、広野町の総人口4,608人となり、小規模な“田舎すなざない”田舎で、山や海といった自然に囲まれた穏やかな街です。

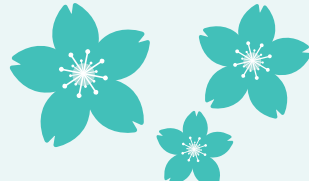
※2023年12月31日時点

広野町の鳥 メジロ



目の周囲が銀白色で、その姿と鳴き声が美しい鳥です。

広野町の木 サクラ

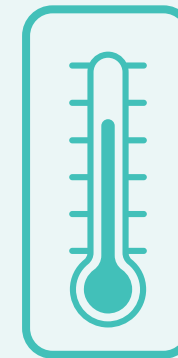


町内全域に植林され、春には山桜がまちを美しく染めています。

広野町の花 ヤマユリ



町内一円に自生しているヤマユリは広野町のシンボルです。



年間平均気温

15.5度

最高気温
37.3度

最低気温
-6.9度

一年を通して温暖な気候で、冬の平均気温は10度を超えています。その温暖な気候を生かし、町内ではみかんが地植えで育っています。

※出典元：気象庁ホームページより（2023年）

町内世帯数

2,275世帯



教育の丘がある広野町は、様々な世代の暮らすまち。学生や子育て世代～老年世代まで、様々な世代と交流が可能です

※2023年12月31日時点

広野町の年間イベント

8月



広野町サマーフェスティバル

4,000発の花火が広野町の夜空を彩る、広野町サマーフェスティバル。子どもから大人まで楽しめるステージイベントとおいしい屋台が並ぶ町内外で愛されるお祭りです。

10月



ひろの童謡まつり

「とんぼのめがね」や「汽車」の生まれた舞台である広野町では、児童文化の里としてこの文化を後世に残していきたいと願い平成6年からこの祭りを開催しています。

10月



広野スタイル

フリースタイルモトクロス（FMX）ライダーによるショーやサッカー、ボルダリングなどのスポーツ体験ブースに加え、グルメや物産など広野町の魅力が詰まった臨場感あふれるお祭りです。

4月

たんたんべろべろ（広野町セタ伝説）

4月8日に行われる浜下りという神事、通称タンベロ。鹿嶋神社と大滝神社は男神と女神の関係にあり、その二人が年に一度だけ一緒にになれる機会に浜下りの神事が催されます。

5月

ニッ沼総合公園ふれあいフェスタ

音楽ライブやダンスショー、フラショーのほか、飲食店や物販店が勢ぞろいするイベント。町内外問わずたくさんの人の笑顔があふれるイベントです。

11月

ひろの秋祭り

広野町で採れた農産物販売や、出店の収穫祭と子どもたちの展示や発表のある文化展、健康まつりが一挙に開催される秋の美味しいお祭りです。

12月

広野町暮市

広野駅前通りで開催され、地元商店や露店などの並ぶお祭り。正月飾りやだるまなどの正月用品の販売もあり来場者も多く集まる年末恒例のお祭りです。

1月

酉小屋

「酉小屋」とは、竹やワラで作った小屋に正月飾りなどを納めて盛大に燃やす伝統行事。害鳥から田畑を守る「鳥追い」と、正月飾りを焚き上げる「どんど焼き」を一緒に行います。



年間降水量

1,299mm

年間積雪量

0cm

もっとも乾燥する時期は12月。降水量も低く、暖かい気候の広野町は雪がほとんど降ることはなく、雪が積もることが珍しいまちです。

※出典元：気象庁ホームページより（2023年）

年間日照時間

2,429.2時間



太平洋に面している広野町は日照時間も長く、2023年3月には「日本一美しい日の出のまち」を宣言しました。

※出典元：気象庁ホームページより（2023年）